

風の中に少しずつ秋を感じるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。日ごろより、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

泌尿器科からのお知らせ

「体外衝撃波結石破砕装置を導入します」

平成 27 年 10 月 1 日付で、当院泌尿器科に体外衝撃波結石破砕装置が導入されます。これは腎結石、尿管結石に対する手術治療の装置ですが、開腹手術や内視鏡手術とは異なり、体外より尿管結石に対して振動波を与えることにより結石を破砕できる装置です。この装置の導入により、昨年から行っております内視鏡下でのレーザー破砕手術（硬性鏡下だけでなく、軟性鏡下での先進的尿路結石治療法「f-TUL」も施行しております）と合わせて、尿管結石に対する治療がすべて可能となりました。

現在の内視鏡下での破砕治療は破砕の確実性が高いですが、入院が 4~5 日必要となり、現役世代の方には負担となるケースがありました。体外衝撃波結石破砕装置での治療の場合は 1 泊 2 日入院で治療を行う予定でおります。結石を内視鏡下で直接見て破砕する手術に比べますと 1 回の治療で完了できる確率は下がりますが、何よりも入院期間が著しく短縮されますので、特に現役世代の方、あるいは様々な合併症をお持ちのために麻酔管理下での手術が困難な方でも安心して治療を受けていただけるものと確信しております。

従来の内視鏡下手術と合わせて、結石治療に力を入れていきたいと考えております。現在でもたくさんの近隣でご開業の先生方からご紹介を頂いておりますが、先生方の診察などでも結石を疑うような痛み、血尿などの患者様がおられましたら、当科にご一報いただけますと幸甚です。できるだけ対応をさせていただきます。

“結石がある、あるいは結石がありそうだ”ということになれば、“結石なら緑市民病院に！”と考えていただけるように全力で頑張りたいと思います。

「前立腺癌地域連携パスの作成、運用を目指しております」

近隣のご開業の先生方より、前立腺癌検診での 2 次検診の依頼を頂いております。この場をお借りして御礼申し上げます。

昨年実績で年間 110 例の前立腺生検を施行いたしました。このうちで陽性率は昨年実績で 38.9%となりました。つまり約 60%強、70 人程度の方が PSA 高値であるけれども前立腺生検では検出されておられません。これらの多くの方が PSA での follow up を行い、万一 PSA が上昇傾向にあれば、再生検を検討しなくてはなりません。当科でも follow up を施行しておりますが、ご紹介頂いた方の中には紹介元の先生方にかかりつけである場合も少なくありません。当然ご年配の患者様方が中心となりますので通院も複数個所になれば煩雑になりますし、短期間に重複して採血検査が行われる場

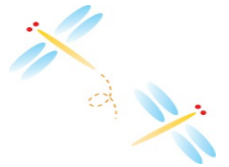
合も多いと考えられます。しかし、紹介元の先生に follow up を全てお任せすることは、専門外の判断をしていただかなくてはならないこととなってしまいます。この解決方法として現在日本全国で、地域連携パスが作成、運用されております。前立腺癌に関して、県下統一パスで運用されている県もございます。残念ながら名古屋市は前立腺癌に関しましては統一されたものがなく、稼働しているパスもほとんどありません。現在、緑区で開業されている泌尿器科専門医の先生方にもご協力をお願いし、パスを作成中です。クリアファイルを用いた手帳型のものを作成し、初診時の PSA、既往歴、内服薬、アレルギー歴などを記載した用紙、MRI の検査結果、生検の検査結果、follow up 中の PSA 値などをその中に入れてゆく予定です。普段はかかりつけの先生に follow up いただき、1 回/年程度で当科にも受診していただきそれを確認させていただく、という形の循環型のパスを目指しております。

何卒ご協力、またご指導をよろしくお願い申し上げます。

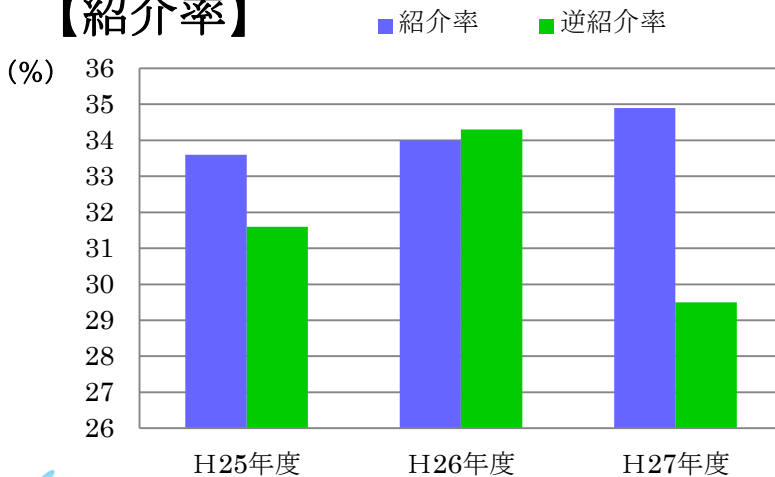
泌尿器科診療部長 南館 謙

医療統計

※H27 年度統計は 7 月までの実績
数値は月平均

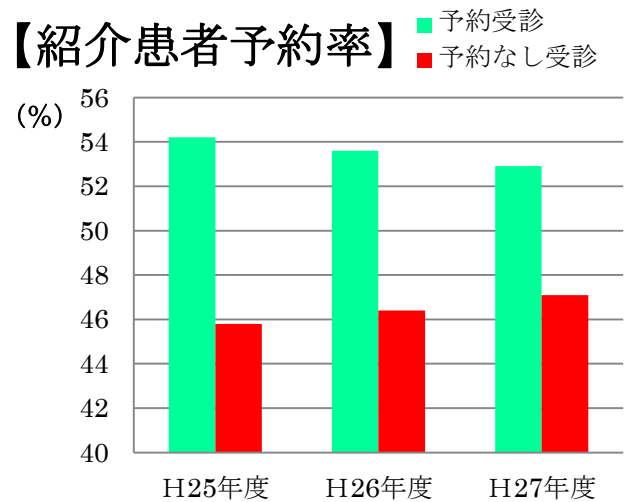


【紹介率】



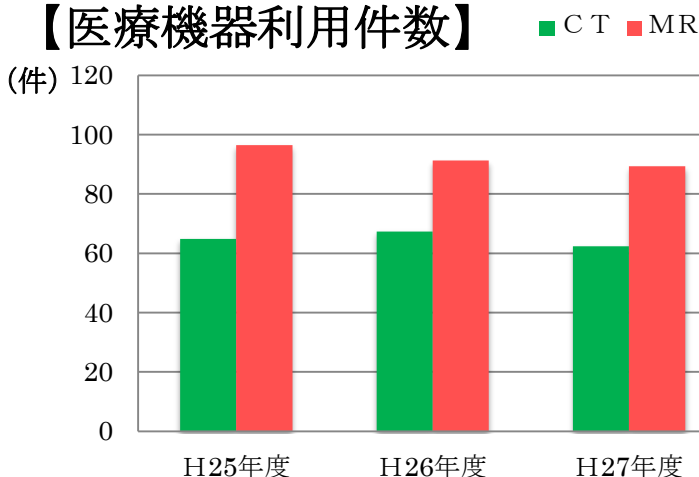
※ 地域医療支援病院の紹介率で計算

【紹介患者予約率】



※H27 年 2 月より患者様が電話で直接受診予約ができるようになりました

【医療機器利用件数】



【医療相談件数】

